

第23回日本乳癌学会近畿地方会 教育セミナー 治療編

術前化学療法後の薬物療法

日本赤十字社和歌山医療センター 乳腺外科部

松本純明



The Japanese Breast Cancer Society
since 1992



筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

症例

【症例】 50歳台女性 右EAB区域 炎症性乳癌

【cStage】 cT4dN1M0 cStageⅢB (N1は細胞診で確定)

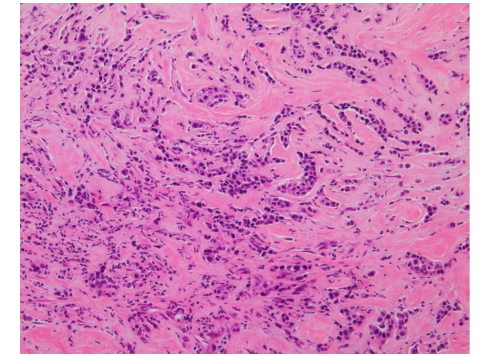
【VAB】 Invasive carcinoma, NST, Histological grade 1 (3-1-1),
ER(-), PgR(-), HER2(- score0), Ki-67(54%), E-cadherin(+)

【遺伝学的検査歴】 BRCA1 病的バリエーション(c505 C>T)

【既往歴】 高血圧・高脂血症

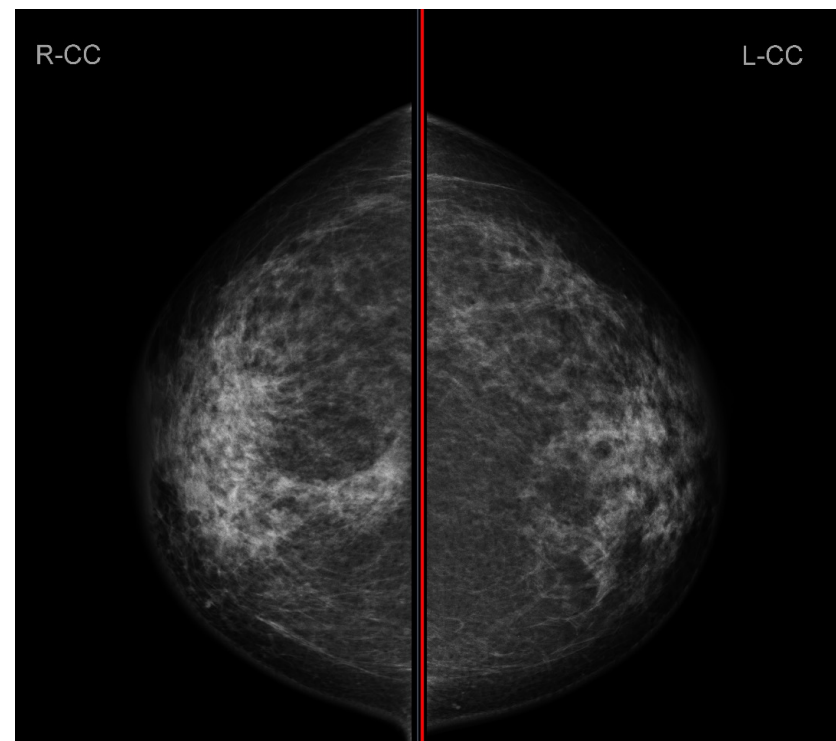
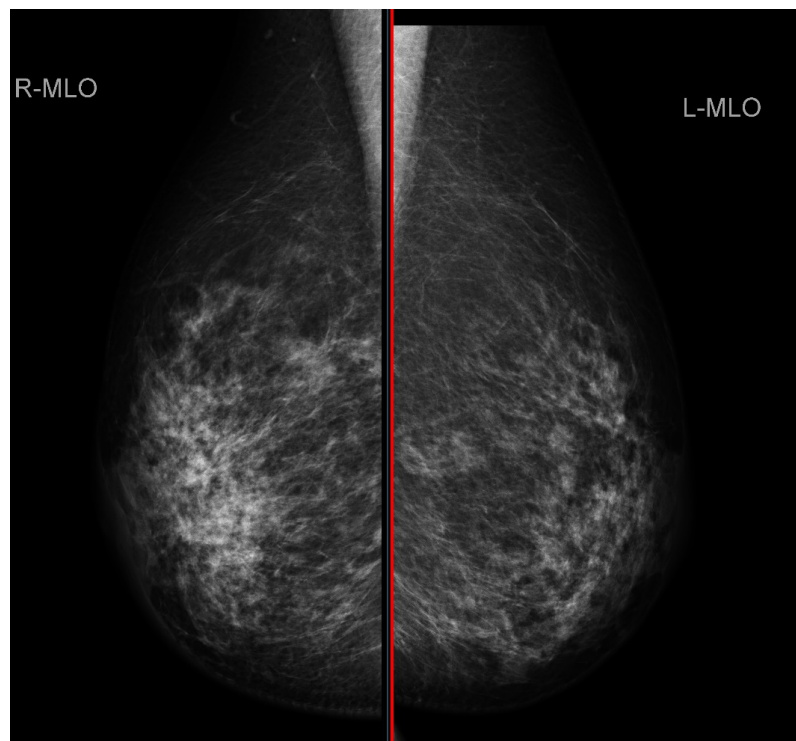
【家族歴】 母：71歳時 乳癌 (TNBC/BRCA1病的バリエーション) 父：76歳時 膀胱癌

【生活歴】 初経12歳 妊娠1回 出産0回 閉経前 喫煙歴20本/日(18-38歳) 飲酒歴なし



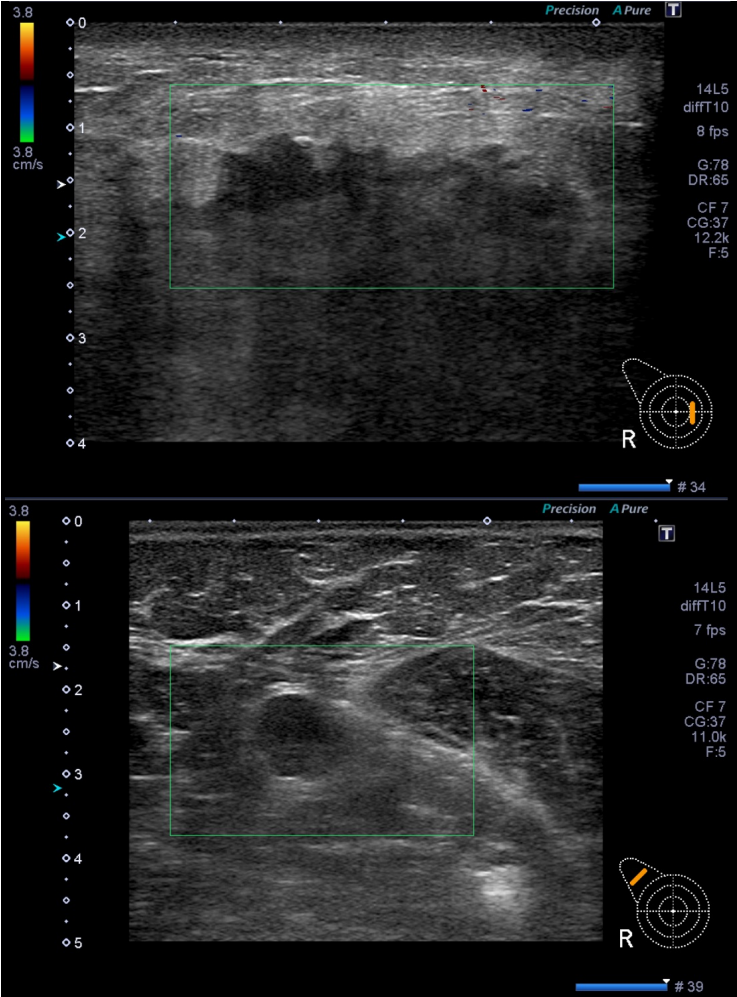
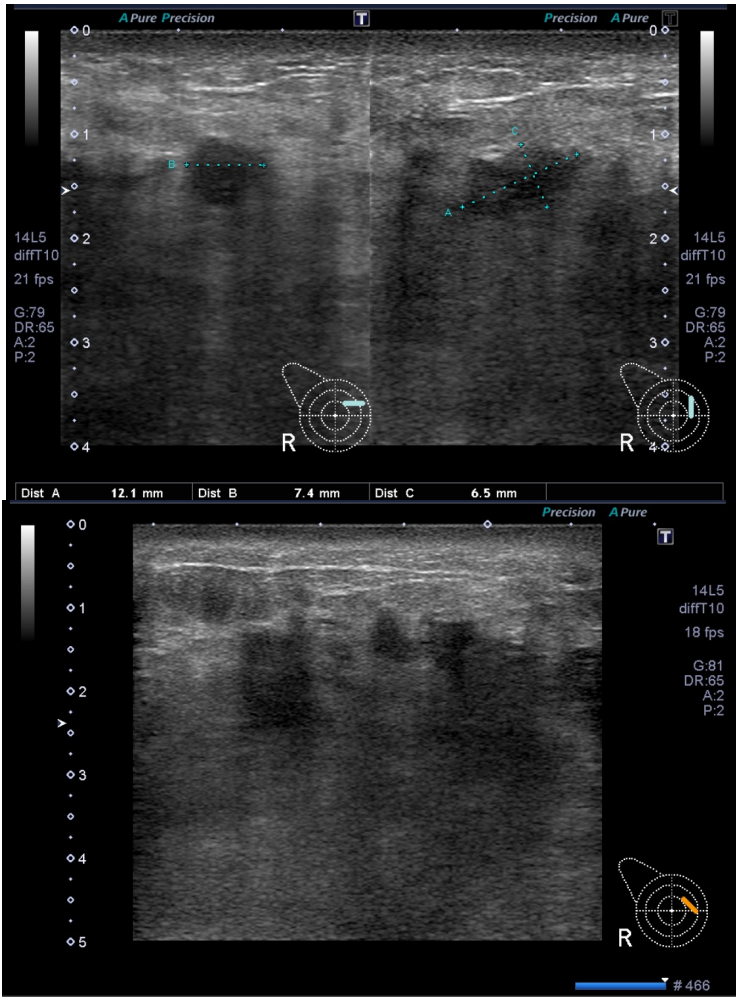
症例

MMG



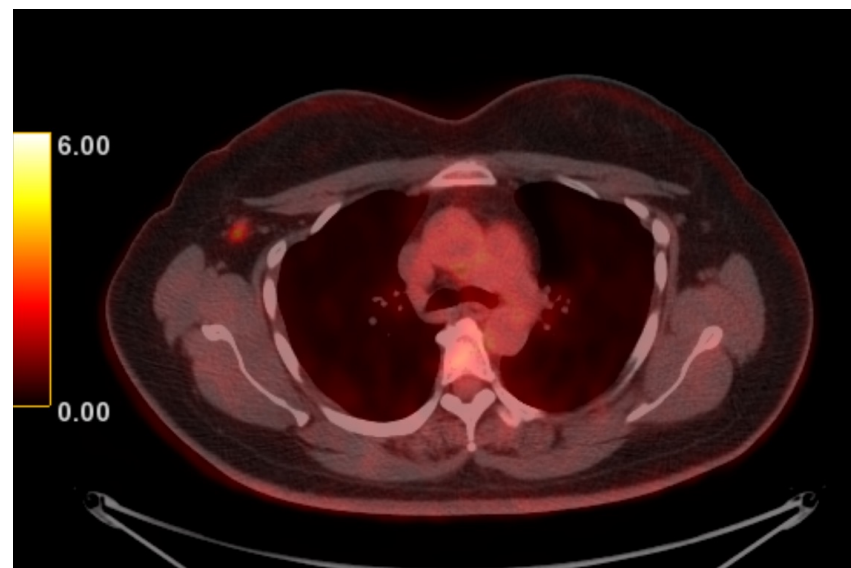
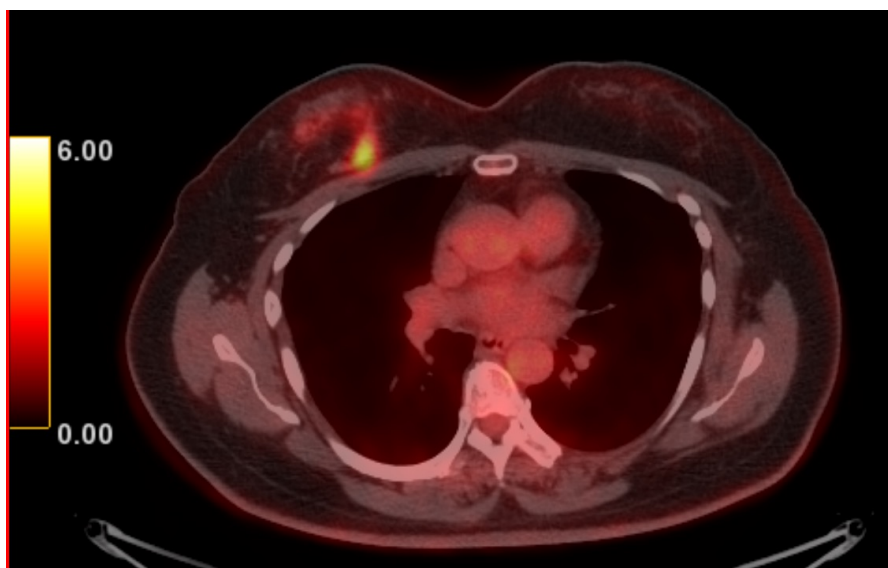
症例

US

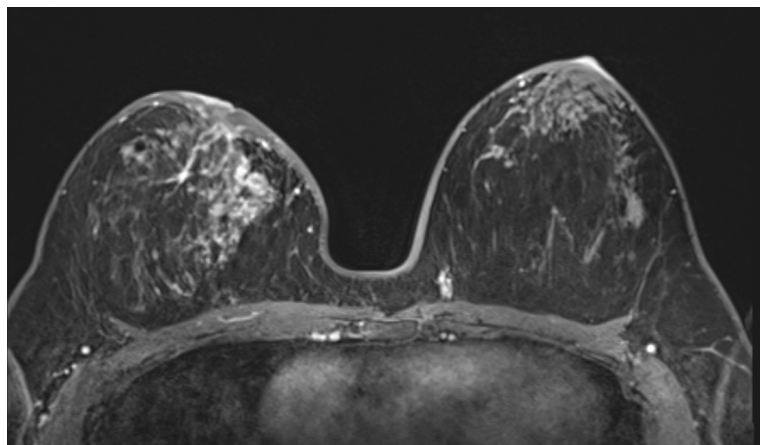
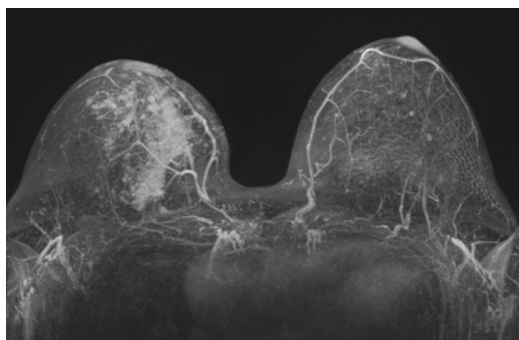
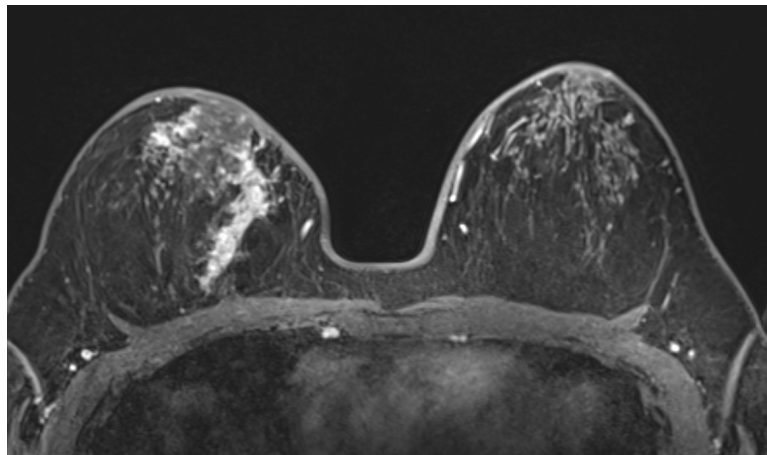


症例

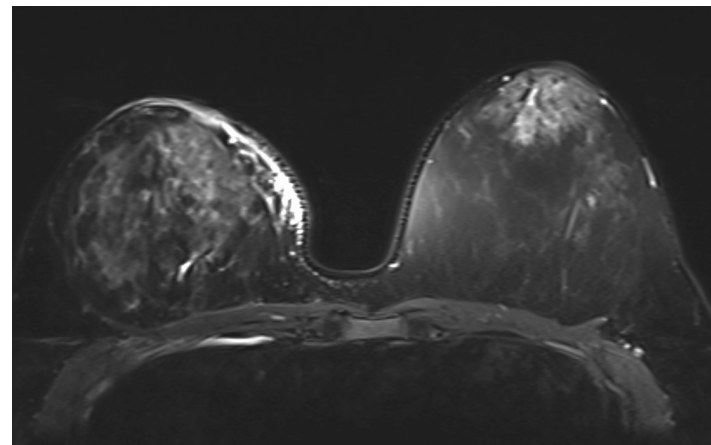
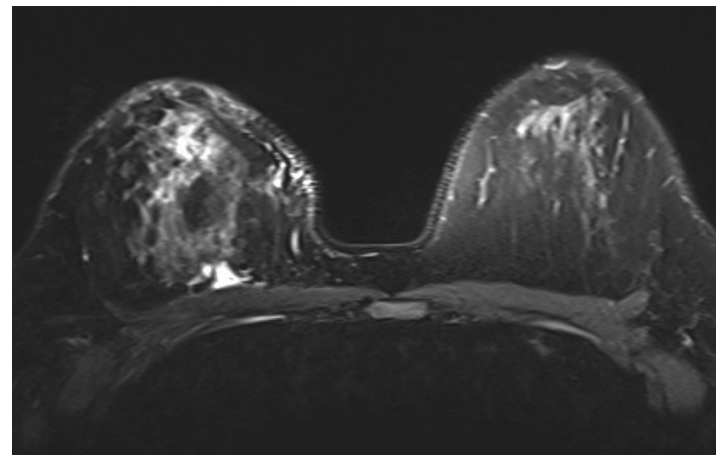
FDG-PET/CT



症例



MRI



症例

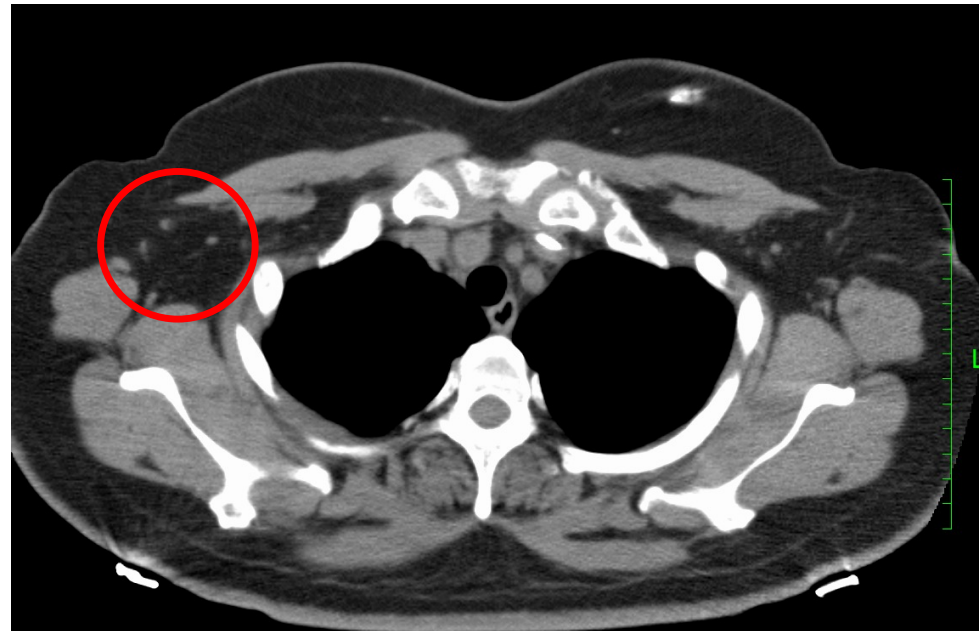
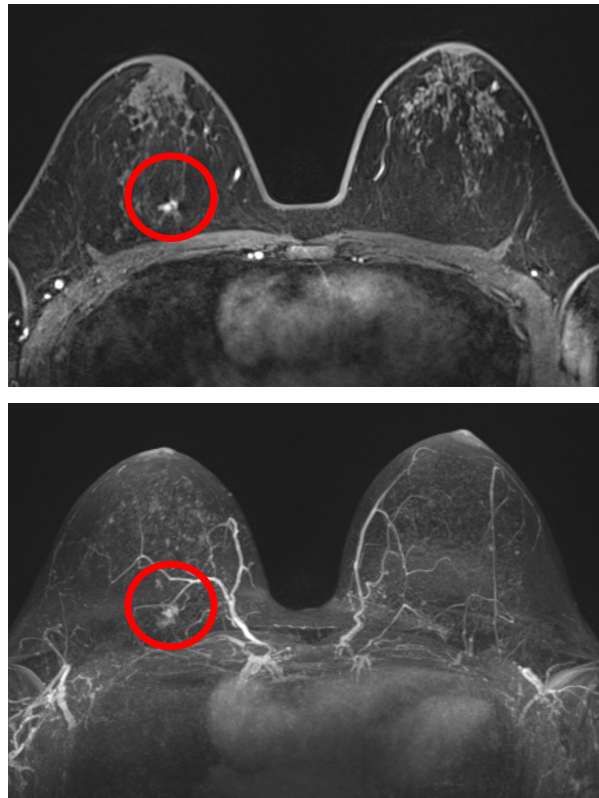
質問 1 : 術前化学療法を選択しました。どんなレジメンを推奨しますか？

症例

KEYNOTE-522試験レジメンを選択しました。

Pembrolizumab + Carboplatin + Paclitaxel

→ Pembrolizumab + Epirubicin/Cyclophosphamide 完遂
術前評価画像は以下の通り。

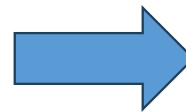
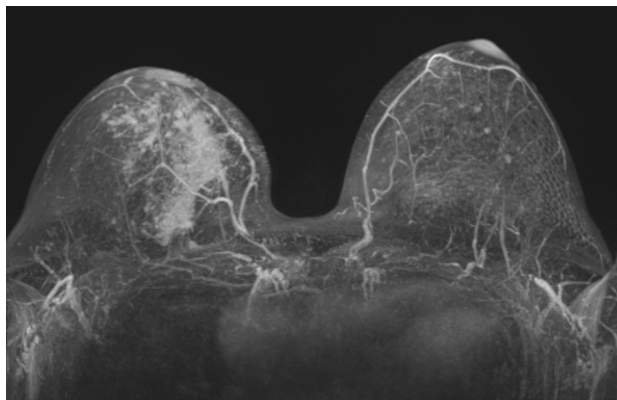


症例

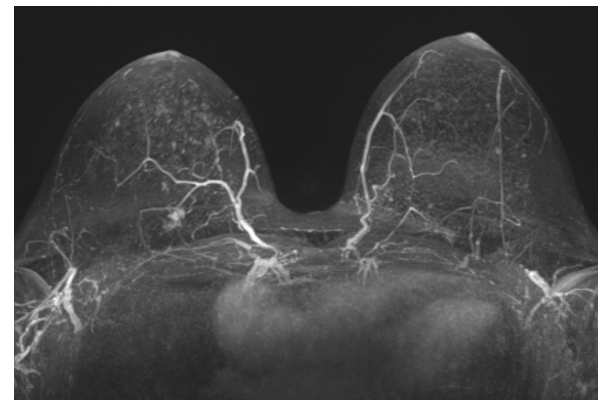
KEYNOTE-522試験レジメンを選択しました。

Pembrolizumab + Carboplatin + Paclitaxel

→ Pembrolizumab + Epirubicin/Cyclophosphamide 完遂
術前評価画像は以下の通り。

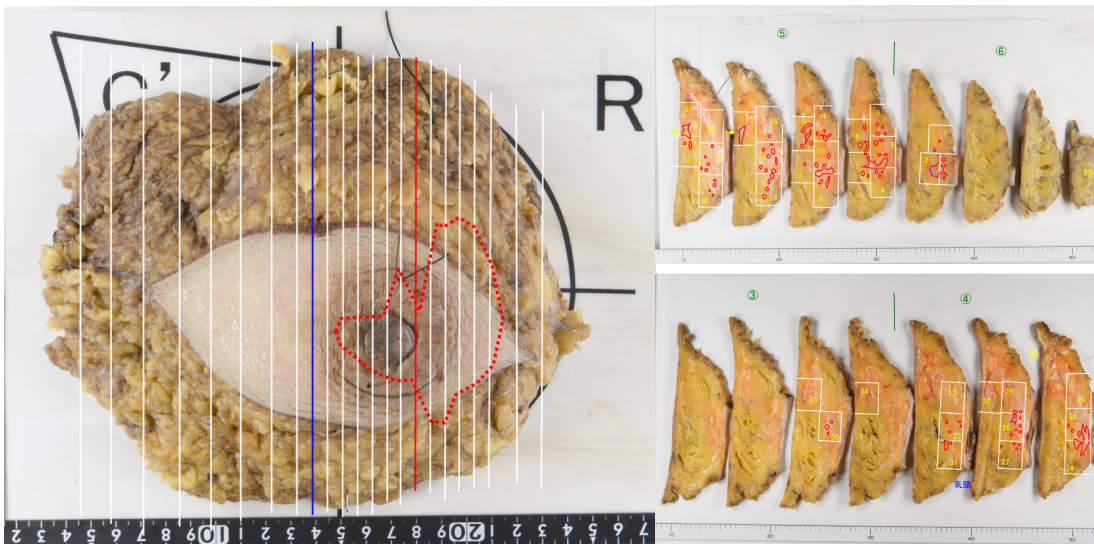


6ヶ月後



→ 右 Bt+Ax 左 RRM 婦人科にてRRSO施行

症例



Breast, right, resection, status post chemotherapy:
Invasive carcinoma, NST, **residual**,
Histological grade 2(3-2-1),
f, ly0, v0, **ypT3, ypNO(0/16)**
Therapeutic grade 2a

症例

質問2：術後化学療法は何を行いますか？

症例

質問2：術後化学療法は何を行いますか？

Pembrolizumab ×9 回を行いました。

症例

質問3：本症例で、 Pembrolizumab 9回の後にOlaparib内服1年を行いますか？

症例

質問4：NACの治療効果がGrade 0（RCB-3相当）であった場合は？